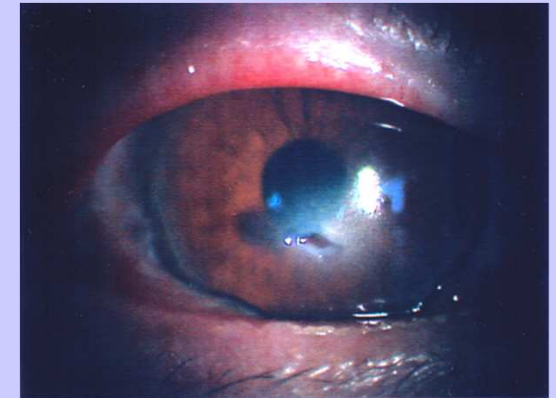


神経麻痺性角膜症の機序解明と新規治療薬の開発

(准教授・杉岡孝二, sugioka@kindai.med.ac.jp)

Research Area

1. 患者涙液中の神経伝達物質および線溶系因子の同定
2. 神経伝達物質のコラーゲン分解に対する作用の検討
3. 神経性因子と線溶系因子との相互作用
4. 神経麻痺性角膜症治療薬の開発



Recent Activities

- 細菌性角膜潰瘍の進行における角膜線維芽細胞の極めて重要な役割 .Int J Mol Sci. 2021 20;22:8979
- 角膜の線溶メカニズム: 線溶系因子の角膜創傷治癒と生物学的防御に対する重要な調節機構。 Exp Eye Res. 2021;204:108459
- 角膜線維芽細胞によるIL-1誘導ウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター発現およびコラーゲン分解に対するエピガロカテキンガレート阻害作用 . Invest Ophthalmol Vis Sci. 2019;60:2895-2903.